

お店屋さんごっこをしよう

～人や物を大切にし、思いやりのある子どもを目指して～

(総授業時数：9時間)

実施学年、教科など

4歳児「お店屋さんごっこをしよう」

単元(題材)の目標

- ① いろいろな材料を使って、自分のなりたいお店屋さんの品物を作り、売り買いを楽しむ。
- ② 保護者に手伝ってもらったり、教えてもらったりしてお店屋さんごっこをする。

学習の評価

- ① 品物とお金を交換して買うことが分かる。
- ② 買った品物や作った品物を大切にすることができる。
- ③ 年少児に優しく接したり、売ったりできる。

展開の特色

- ① 年長組のお店でお買い物体験をしたことをもとに、自分たちも年少組を相手にお店屋さんごっこをする。
- ② 保護者に保育参加をしてもらい、お店ごとに一人の保護者に入ってもらおう。
- ③ 保護者に、売り買いがスムーズにいくように助言者として手伝ってもらおう。
- ④ 「年少組に財布を届ける」活動から保護者に参加してもらい、幼児の活動を見守ったり、言葉がけをしてもらったりする。

その他

- ① 活動がスムーズにいくように、年長児担任、年少児担任と連携をとる。
- ② 保育参加の保護者と事前に打ち合わせを行い、アドバイザーとしての役割を理解してもらおう。

指導計画

時数	ねらい	学習活動
1	<ul style="list-style-type: none"> ・買いたい品物を選んで、売り買いに必要な言葉を言いながら買い物遊びを楽しむ。 ・買った品物は、大切に遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年長組のお店屋さんで買い物をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・買いたい品物を自分で選ぶ。 ・買い物に必要な言葉を言う。 ・買った品物で遊ぶ。 ・物を大事にする。
2 5 7	<ul style="list-style-type: none"> ・お店屋さんごっこをすることを楽しみに品物作りをする。 ・年少組が買ってくれることを楽しみにして品物作りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○お店屋さんごっこの品物作りをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の作りたい品物を工夫して作る。 ・物を作る楽しさを味わう。 ・品物がいくつできたか数える。 ・必要な材料を言ったり、友達と協力したり、分担したりして作る。 ・はさみ・セロハンテープ・ビニールテープなどの使い方に慣れる。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・年少組が見に来てくれることを楽しみに開店の準備をする(品物を並べる、財布を作る)。 	<ul style="list-style-type: none"> ○開店の準備をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・品物を見やすいように並べる。 ○財布を作る。 <ul style="list-style-type: none"> ・年少組に届ける財布の作り方を覚える。
9 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・お店屋さんごっこをして、品物を買ったり、お金をもらったりする楽しさを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○お店屋さんごっこをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・お金と引き換えに品物を買う。 ・売るときに必要な言葉を言う。



金融教育の視点	指導上の留意点	その他(資料など)
<ul style="list-style-type: none"> ◇買い物に必要な言葉を言ったり、考えたりする。 ◇買った物を大事に扱う。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆自分で欲しいものが買えるように一人ひとりの様子をよく見るようにする。一人で買えなかったり、決められなかったりする幼児には言葉かけやアドバイスをします。 ☆買った物で遊ぶ時間をとり、買い物をした満足感が味わえるようにする。 ☆買った品物をおつかい袋に入れさせ、落としたり、壊れたり、紛失したりしないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買った物を写真で撮り、次に自分たちが作る時の参考にします。
<ul style="list-style-type: none"> ◇作った物を大事に扱う。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆出来た品物をお店ごとに並べ、大事に扱うとともに品物がいくつできたか分かりやすく並べておく。 ☆他のお店の品物を見せたり、誉めたりして制作意欲を高めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机 ・木枠 ・レジスター
<ul style="list-style-type: none"> ◇自分たちが作った物を大事に扱う。 ◇お店の開店準備を一生懸命する。 ◇年少組に思いやりの気持ちをもって財布作りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆年少組が品物を見やすいように工夫して並べるようにする。 ☆年少組が、まだ、財布を折れないことを知らせ、意欲的に財布作りができるようにする。 	
<ul style="list-style-type: none"> ◇お金と引き換えに品物を買ったり、売ったりすることを知る。 ◇売るときに必要な言葉を言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆きちんと言葉が言えているかよく見て、言葉をかけるようにする。 	

本時の展開

導入 (15分)

展開 (25分)

まとめ (10分)

学習内容	学習活動
<ul style="list-style-type: none"> ・開店日を知る。 ・保育参加の保護者を知る。 ・開店準備の仕方について知る。 ・年少組に間違えないで財布を届ける。 ・挨拶の言葉を元気に言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者の前に集まる。 ○保育参加の保護者に挨拶をする。 ○お金と引き換えに品物を売ることを知る。 ○セロハンテープで掲示物を友達と協力して貼る。 ○財布の中にお金を3個入れる。 ○グループに分かれて年少組に届けに行く。 ○グループの友達と一緒に挨拶の言葉を言う。 
<ul style="list-style-type: none"> ・開店をする。 ・品物を売ったり、お金をもらったりする楽しさを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の店に着く。 ○売るときに必要な言葉を言う。 ・「いらっしゃいませ」、「どれにしますか?」、「ありがとうございました」の3つの言葉を言う。 ○品物と引き換えにお金をもらう。 ○お金をきちんと箱に入れる。 
<ul style="list-style-type: none"> ・閉店をする。 ・売り上げを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者のそばに集まる。 ○今日の遊びについて話し合う。 ○お店屋さんごっこをして嬉しかったことを話す。 ○売上集計表を見てお店ごとの数を数える。 ○保育参加の保護者の方に挨拶とお礼を言う。

【本時の目標】

- ア 売るときに必要な言葉を話しながら、年少組に売ることを楽しむ。
- イ 保護者に手伝ってもらったり、教えてもらったりしながら年少組に売る。

金融教育の視点	指導上の留意点	その他(資料など)
<ul style="list-style-type: none"> ◇お金と引き換えに品物を売ったり、買ったりすることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆開店の準備に時間がかからないように、前日に作っておいた看板や飾りを貼るだけしておくようにする。 ☆2組に分かれて行くが自分の行くクラスを間違えないように保育参加の保護者にもついでに行ってもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・木枠 ・看板 ・レジスター ・財布 ・お金
<ul style="list-style-type: none"> ◇お金と引き換えに3個売る。 ◇売るときに必要な言葉を話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆元気に挨拶の言葉が言えるように言葉をかけるようにする。 ☆お金と引き換えに品物を売っているか良く見てもらうようにする。 ☆元気が良すぎて乱暴だったり、逆に小さい声で言ったりしているグループに適切な言葉で言えるように、誉めたり励ましたりする。 ☆買った品物をおつかい袋に入れさせ、自分の品物を大事に扱うことを年少組にも教えていくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お金を入れる箱
<ul style="list-style-type: none"> ◇何個売れたか数える。 ◇お店で品物を売った充実感を味わう。 ◇保育参加の保護者の方とお店を片付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆売上集計表を見せ、目で見てどのお店屋さんがどれくらい売れたか分かるようにする。 ☆売り上げの様子によっては、参加者にも買い物をしてもらい、お店屋さんごっこをした幼児が満足感をもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・売上集計表 ・手作りのお金(100個)(教師が作ったもの)

実践の記録

(反省・考察)

- この一連の活動を通して、いろいろな物を使って作る楽しさを味わうことができたし、お店で物を買う楽しさ・売る楽しさの両面が味わえたと思う。保育参加の保護者の適切なアドバイスのもと、お金で商品を取り扱うというシステムを幼児ながらに学べたのではないかと考える。
- 品物作りでは、子どもたちが楽しみながら作ることができるように、廃品を利用しながらも子どもたちが好んで使うような光るテープ類を加えた。このことで制作意欲が増していた。
- 作った物を大事に扱う、買った物を大事に使うことに配慮して声かけなどをしてきた。子どもたちが物を大切にするように変わってきた。
- 年少児に売ること、売り買いの態度・言葉に思いやりが感じられる場面が多く見られ嬉しかった。
- お金をいくつずつ持たせるかについては、3歳児にも分かる「数」だということ、一つでは欲しいものがいっぱいあるのに選びきれないこと、反対に5個では多すぎて買った物を大切にしないのではないかと理由から3個にした。今日の買い方を見ていて適切な「数」であったと思う。
- お店の飾りつけも良く、呼び込みに元気があった。お店によっては、品物を上手にアピールして売っていた。また、手作りのレジスターもあって、子どもたちがこの活動をととても楽しんでるのが良くわかった。

(保育参加の保護者の感想)

<p>自分(ちち)の子どもは、お金のことをまだわからなかったと思うので、今は何れも幼稚園で教えた方がいいかなと思ったり思ったりしてました。子どものことを思いやり、楽しかったらいい。</p>	<p>子供達は前から準備をしていたので朝からソワソワ楽しみにしていたようでした。開店してから大きな声で「いらっしゃいませ」と言って楽しそうに売っていました。楽しく売ったり買ったり、お金の大切さを学んでとてもいい事だと思いました。</p>
<p>子供をのびのびと楽しませてくれた。空箱やどんぶり紙を使った品物もとても可愛く、お母さんにも感動しました。大勢の子どもたちと一緒にお金を取り扱ったことは、最後のほうにはとても入念に準備してくれてくれた。買った物を大事に扱ってほしいなと思います。</p>	<p>子供達の一生懸命の姿が印象的でした。100円をもらった時の喜び、お金の大切さを学べました。お金の価値も少しは分かってきたと思います。お金の大切さを学べたのは、とてもいい事だと思いました。</p>
<p>子供もおなじ目の高さで、お店屋さんをやってみて、たのしくできました。</p>	

(指導・助言)

- 金銭教育は、自分の物と他人の物の区別ができること、欲しい物をすべて手にすることはできないことを教えていくことが大事である。お金は打出の小槌ではない。これらをお店屋さんごっこで幼児期に体験することはとても大事なことである。
- 保育参加の中で親も子も育つので、今後も続けて欲しい。
- 「作る、売る」ということを子どもたちは楽しんでた。買い物ごっこは、模擬的な経済活動である。園の活動すべてが金銭教育につながっていく。
- 思いやりは、夫婦・親子間でも言葉で伝え合うことを通じて、小さい時から言葉のやりとりを教えることが大切である。言葉のやりとりが思いやりにつながるといっても過言ではない。
- 買った物をおつかい袋に入れていた。りっぱなエコである。

入門ガイド
小学校における入門ガイド
中学校(社会)における入門ガイド
中学校技術家庭における入門ガイド
実践事例
幼稚園における実践事例
4歳児
小学校における実践事例
中学校における実践事例
高等学校における実践事例
資料
金融教育に関する年間指導計画の例
資料